



国際理解講演会開催



「国連による『持続可能な開発目標（SDGs）』から考える
ウミガメへの手紙～浦島伝説の地・いわきより」

5月30日（木）6・7校時目に国際理解講演会が開催されました。

今年度の総合的な学習の時間のテーマは「共存～作ってきたもの・作っていくもの～」。

今回はアクアマリンふくしまの副館長である岩田雅光氏をお呼びし、ウミガメの生態やウミガメに迫る脅威、SDGs と海洋ゴミ問題について講演していただきました。

ウミガメや多くの海洋生物たちは現在、プラスチックごみの影響を受け危険な状態にさらされています。海洋生物たちは海に流れてきたビニール袋やストロー、ライターなどを飲み込んでしまうのです。

「3R（Reduce 削減・Reuse 再利用・Recycle リサイクル）」という言葉がありますが、このような被害を減らすには Reduce 削減することが一番効果的です。買い物の際ビニール袋を使わずエコバッグを使う、プラスチックストローではなく紙ストローを使う（100円ショップで購入できます）など、なるべくプラスチック製品を使わないよう心掛けて生活していくことが大切です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



S = Sustainable（持続可能な）
D = Development（開発）
Gs = Goals（目標）

今回講演していただいた問題は SDGs の
12番目の目標「つくる責任・つかう責任」と
14番目の目標「海の豊かさを守ろう」に該当するものです。

《講演会の様子》

岩田さんは統括学芸員であり、シーラカンスの調査や生きた化石生物の飼育をしています。

アクアマリンふくしまの立ち上げにかかわった方です。

